

横ちゃん通信

はじめての Web 版です

たぶん第35号

平成20年6月23日作成

作成担当者 横田佳弘



「筑前の小京都」 “秋月” へ 予期していない 福岡に感動！

6月ってかつては10月に次ぐ団体旅行の大受注期だったんですが、最近はその感が薄れつつあったりして… 私だけかもって安穩な気持ちになっていられないのですがね。6月6日～7日は神戸に行っていました。お客様にご無理をお願いしまして、7日に神戸の昼食後 伊丹空港より新入社員“Y君”に添乗依頼していた長崎のお客様とホテルにて合流いたしました。

実際、会社自体も添乗員が不足、長崎観光のお客様にも「添乗員は新入社員ですが… 夕方から私も合流しますので」とお願いをしておりました。決して“Y君”を信用していないのではなく、でも彼には屈辱であったかも知れませんが… 昨年初めていただいたお客様で、2年目は行けないのは失礼かと思ひまして。合流後も彼が無難にこなしてくれてと安心しておりました。

2日目は、お客様とともに長崎・福岡を巡り、福岡空港で“Y君”をお願いしてお客様をお見送りさせていただきました。

当社の都合ですので私が合流用の航空運賃もお客様には請求できるわけありませんので、必殺？ [ANA代理店褒賞優待券](#) (AD券) を使用いたしました。会社からも出張用に貴重なチケットでヒンシュクものでしたが、このチケットはお客様優先でオーバーブッキングなどの際は降機させられる場合もあるリスクなチケットです。6月8日の福岡～小松便 ANA320便は満席でして、AD券の使用も不可となっておりました。運良く翌日のANA320便の座席はAD券で押さえられました(実際満席状況でしたが)。そこで、6月9日は休みを取って、以前より気になっていたところ“秋月”へレンタカーを借りて訪ねることにいたしました。

福岡市内のビジネスホテルに宿泊しました。お客様と一緒に中州へとなるわけですが、ホテルから夕食に出ただけで、なんと健全な福岡泊まりって自分にびっくりも。

“秋月”は以前お客様から訪ねてみたいと言われたことがありまして、気になっていた場所のひとつです。近くには日田豆田町(天領であり小京都として名高い)もあり、対比してみようと思っておりました。

前日長崎のバスガイドさんにアクセス方法や見どころを聞いたのですが、「桜や紅葉の時期ならともかく歴史などに興味がないとつまらないかも」と言われました。私も地名に対するイメージだけで歴史に関しては前日ネットで検索する程度でした。

博多駅前レンタカーを借り、一般道を約1時間 ナビに任せながらどうにか秋月に到着も何を見ればいいのか全くわからない。町並みを車で走り？どこを見ればいいのかって感じでしたが、週末進入禁止の細い路地へ迷い込んだ。フルムーンぽい感じのご夫婦・少し年配の女性グループが散策されていました。桜並木が秋月城址まで続き、なんとなくタイムスリップ的な雰囲気も… ここが「筑前の小京都」と呼ばれる所以かと観光駐車場に車を止め、散策してまいりました。ただ、“秋月”と“日田豆田町”を比較すること自体間違っていると思いました。“秋月”は観光ずれしていない(良くも悪くも)、正直言って観光バスで訪ねるところではなく、興味がある方が訪ねられるところではと思います。



上記写真 左より

[秋月観光協会 HP](#)

秋月城址に続く桜並木(桜の時期は素晴らしい&紅葉の時期も と思います)

秋月城址 瓦坂 坂に瓦が縦に並べて敷かれています。(城址には秋月中学校が入っております)

秋月花菖蒲園 無料です(時期的に満開の花菖蒲を見られてラッキーでした)

昼食は秋月ら一めん本舗(魚介系ダシしょうゆ味で縮れ麺 九州系ラーメンを食べ続けたため新鮮味も)

秋月ら一めんは結構イケタけど(北観の小池さん談?) ラーメン以上に案内すべきところもありますよ。

ANA320 便は、福岡空港 18:35 発で、このまま空港に行ってしまうと、14:00 頃には空港到着となってしまふ。と言うことで な・なんとジャケットの内ポケットにドリームジャンボ宝くじが入っている。

そこで、宝くじといえば 福岡県篠栗町 “南蔵院” 林覚乗住職は昨年私の住む津幡にも講演にこられました。私とは宗派も違う(阿弥陀様に帰命しなければならない)のですが、ここは林住職のお力をお借りいたしまして… 林住職は数度宝くじの高額当選をされているのも有名です。

以前 東京銀座の数寄屋橋チャンスセンターで年末ジャンボを購入の際 1 番と 7 番の購入口が他の列より極端に長かったことを思い出したりして… 私は 2 番あたりの窓口で 5 分程度で購入できましたが、1 番と 7 番は極端に長い、その上 待ちながら拝んでいる人まで、これはゲーム感覚の宝くじではないとまで思うほどでした。私の今回の参詣理由も 1 番・7 番に並ぶ人たちと同じだなあなんて思いながら。

秋月よりカーナビを頼りに“南蔵院”へ、山道を走り 約 1 時間どうにか到着し、駐車には困ったものの土産店の駐車場を借り参詣させていただきました。

40 分程度の参詣でしたが、寺内には ブロンズでは世界最大級の釈迦涅槃像や七福神トンネル その他見どころもたくさんあり、想像を超える規模でした。電車でも博多駅より南蔵院(城戸南蔵院前駅利用)で片道 20 分程度で訪ねられ、アクセスも便利です。興味がございましたらお訪ねいただく価値は充分あると思います。



左画像: 南蔵院入り口 石段を登り詰めると本堂があります。

右画像: 七福神トンネルから釈迦涅槃像までの通路に 三がえるが(理解不明なのですが…)

それより壁面にアンパンマンが?

(これも林住職のユーモア?)

あまり仏像など写真に入れるのはダメかと思ひまして…

[南蔵院 HP](#)

南蔵院参詣終了は 15:00 頃で、まだ空港に行くには早すぎるため、気になっていたもうひとつの場所でもあった“海の中道”に行ってみようと思ったわけですが、別に何を見たいわけでもなくまだ記憶にも新しい、海ノ中道大橋での悲惨な事故。その橋からの景色もというのは不謹慎かもしれませんが、とにかくはあまった時間ドライブしてみようと思ったわけです。カーナビの指示通りに進めていっても海ノ中道大橋はいつになってもあらわれない。帰ってから地図で調べるとルートが違っていたみたいでした。福岡都心部からは非常に便利なルートですので、知識のなかった自分を恥じなければなりません。

秋月以外は、予定になかったところを思いつきで訪ねたわけですので、勉強不足は仕方もなく思っておりますが、ここでも意外にも良いことが、“志賀島”って車で入ることが出来ることをはじめて知ってしまった。

“志賀島”って あの金印の発見された島。福岡市博物館で初めて見たときは、なんじゃこりゃ 小さすぎるって… 社会の教科書で見たものと全然違うって、ご存知のとおりこの金印は日本の歴史上 邪馬台国の九州説など非常に重要なものです。陸続きになっていると知り、志賀島に上陸できたことも感動のひとつでした。



海ノ中道(国営海浜公園付近)って砂州となっておりますが、志賀島までは多分(これは想像です)片側 1 車線の道を作るのに埋め立てられられて、海の上を走っているんじやって錯覚するほどでした。これぞ名の通り“海の中道”だって感動しました。正面は志賀島 右: 玄界灘 左: 博多湾です。

結局は金印と関係無しの志賀島でしたがね。

南蔵院で祈願のドリームジャンボ宝くじですが、基本的ゲータラ野郎のため、チェックしておりません。サマージャンボ宝くじ購入時に(機械に通し)チェックします。

チャンスセンターの前には、高額当選の案内もないからもちろんダメだったと覚悟はしておりますが… トホホ せめて¥3,000 はあってほしいと願う横ちゃんです(^_^;

ただ、有意義な一日を過ごさせていただきました。

作成

北日本観光旅行 羽咋営業所

横田佳弘 (携帯 090-8960-4328)

TEL: 0767 (22) 2560

e-mail: yokko@mth.biglobe.ne.jp

[横ちゃん通信 web HP](#)

[北日本観光 HP](#)